

ハウ・レン・ソウ(報告・連絡・相談)実践研修

～ハウ・レン・ソウの基本から具体的な方法まで～

日時 2018年3月13日(火) 9:30～17:30

会場 東京セミナー学院 池袋駅西口より徒歩4分(<http://www.ances.jp>)

参加費 19,440円(税込・研修教材代、昼食代含む)

【受講対象】

◆職種、職階にこだわらず、仕事上、上司、取引先に報告・連絡・相談する立場の方ならどなたでも結構です

【受講前の予備知識】

◆特に必要ありません

【受講後得られる効果】

- ◆ハウ・レン・ソウの重要度が分かります
- ◆ハウ・レン・ソウ不足を嘆いている上司のイライラが激減します
- ◆きめのこまかいハウ・レン・ソウによって社内コミュニケーションがよくなります
- ◆お客様からのクレームが減り顧客満足度が高まります
- ◆ミスがあっても大事(おおごと)に発展することを防ぐことができます
- ◆ハウ・レン・ソウの徹底によって会社の信用度が高まります

1. イントロダクション

- 1)「ハウ・レン・ソウ」とは何か
- 2)「ハウ・レン・ソウ」がなぜ必要か
- 3)「ハウ・レン・ソウ」が適切に行われぬのは何故か
- 4)「報告」「連絡」「相談」の違い

2. あなたの「ハウ・レン・ソウ」実践度は

〈実践度チェックシート〉

20の設問に答えるかたちで、各人の今現在の「ハウ・レン・ソウ」実践度をチェック

3. 「ハウ・レン・ソウ」のルールとポイントとは

〈個人考察→グループ討議→発表〉

- 1)グループ討議「何がまずかったか パートⅠ(報告編)
- 2)「報告の留意事項」解説
 - ①相手の都合を確認する
 - ②結論は先に、言い訳や経緯説明は後に
 - ③事実と意見・憶測は分けて報告する
 - ④問われることを前提に報告に臨む
 - ⑤まずいことこそ早めに報告する
 - ⑥中間報告を怠らない
 - ⑦「こんなことは」と思わずこまめに報告する
 - ⑧報告のタイミングを逸しない
- 3)グループ討議「何がまずかったか パートⅡ(連絡編)
- 4)「連絡の留意事項」解説
 - ①重要な事柄は確認を怠らない
 - ②誤解の生じかねない言葉は注意して使う
 - ③言葉の省略には注意する
 - ④気を利かした親切な連絡を心掛ける
 - ⑤伝言を引き受けたら責任を持って伝える

- ⑥メール一辺倒にならない
- ⑦無言の連絡はよくない
- ⑧大切な連絡には手間を惜しまない
- 5)グループ討議「何がまずかったか パートⅢ(相談編)
- 6)「相談の留意事項」解説
 - ①相談内容は整理して臨む
 - ②不明点・疑問点があったら遠慮せず聞く
 - ③上司の出方を読んで報告・相談に臨む
 - ④自責を隠さない
 - ⑤再考を促されてもすぐ引き下がらない
 - ⑥自分一人で悩まない
 - ⑦勝手な判断はしない
 - ⑧言外の思いを察する
- 7)「メール」によるハウ・レン・ソウのポイント

4. あなたならどのように「ハウ・レン・ソウ」するか

〈ハウ・レン・ソウの実践(ロールプレイ)〉

- 1)少人数のグループに分かれ、上司役・部下役・観察者になり、事例を使って「ハウ・レン・ソウ」を実践
- 2)「どのようにしたらよかったか」を解説

5. コミュニケーション上手になるためのポイント

- 1)事例考察「何がいけなかったか」
- 2)コミュニケーション上手になるためのポイント解説
 - ①人の話をよく聴く
 - ②相づちを打つ
 - ③身振り、手振りを加える
 - ④言語明瞭、意味明瞭を心掛ける
 - ⑤早呑み込みしない
 - ⑥良好な人間関係を築く

【講座のポイント】

上司と部下とのコミュニケーションに問題を抱えている企業が多く、適宜・適切な「ホウ・レン・ソウ」の必要性が強く叫ばれています。しかし、どんな点に留意して「ホウ・レン・ソウ」をすればよいか必ずしも明確ではありません。

この研修では「ホウ・レン・ソウ」の基本から具体的方法までを講師の一方的な話でなく、グループ討議→講義→ロールプレイの順で、受講者参画型で進めていきます。

部下の立場の方ももちろん、上司の方でも十分勉強になる研修です。

【講師プロフィール】

昭和 40 年明治大学商学部卒業。

(株)リコー、ソニー(株)に勤務。

この間、人事・労務関係業務に従事の傍ら KT 法の社内講師を務める。

昭和 61 年ソニー(株)を退社、EM 法の研修講師体験後、(株)シンキングマネジメント研究所を設立。現在、研修講師として多方面で活躍。官公庁・企業・団体の管理・監督者対象に問題解決、意思決定強化の研修及びホウ・レン・ソウの研修を実施している。



【書籍のご案内】



- 「これだけはおさえておきたいホウレンソウの基本」(JMA)
- 「ホウレンソウの習慣が面白いほど身につく本」(中経出版)
- 「気のきいたホウ・レン・ソウ」(三笠書房)
- 「頭を使ったホウレンソウ」(日本実業出版社)

他多数

【お申し込み方法】

◆以下の内容を記載の上、メール(info@tm-i.co.jp)にてお申し込み下さい。もしくは下記部分を FAX して下さい。

- ▶ご勤務先名
- ▶ご勤務先所在地／ご勤務先電話番号
- ▶ご参加者氏名(フリガナ)／部署名／メールアドレス

※お客様から頂いた情報は今回の研修運営上のため、お客様との連絡を適切かつ円滑に行うために利用させていただきます。

◆参加費のお支払いは必ず開催日前日までに銀行振込みでお願い致します。

- ▶三井住友銀行 池袋東口支店 普通預金 口座No. 6861347 株式会社シンキングマネジメント研究所

※お振込み頂いた参加費はご返却致しかねますので、ご都合の悪い方は代理の方のご参加をお願い致します。

また振込手数料は貴社負担でお願い致します。

【お問合せ先】

株式会社シンキングマネジメント研究所 (<http://www.tm-i.co.jp>)

TEL/FAX 048-424-3348(受付時間:平日 10 時~17 時) MAIL s-imai@tm-i.co.jp

会場までの地図は www.kashikaigishitsu.net/facilitys/cc-ikebukuro/access/ でご確認ください。

ホウ・レン・ソウ(報告・連絡・相談)実践研修 2018年3月13日(火)			
貴社名 事業所名			TEL
			FAX
所在地	〒 —		
ご参加者	ご芳名(ふりがな)	部署名	メールアドレス